

～エムティーアイが電子書籍の利用動向に関する調査を実施～
全体の約6割が利用経験あり、60歳代でも約4割！

(株)エムティーアイは、この度20-60歳代の男女960名を対象に、「電子書籍の利用動向に関する調査」を実施しました。電子書籍は近年利用者が拡大しており、今後さらに普及が見込まれるモバイルコンテンツのひとつです。

今回の調査は、世の中の電子書籍の利用状況を把握し、利用経験者や利用希望者の要望などを聴取することを通じて、電子書籍を取り巻く状況・課題を明らかにすることを目的としています。調査結果からは、人々の電子書籍に対する期待の大きさや、次世代へ向けての電子書籍像なども見えてきました。

当社では、今後も幅広い年代の人々が楽しめる、多彩なジャンルの電子書籍作品を提供するとともに、読みやすさ・使いやすさにも注力し、電子書籍の普及・拡大に努めていきます。

<「電子書籍の利用動向に関する調査」のご報告>

(株)エムティーアイでは、2012年6月に“電子書籍の利用動向”や“今後の普及に向けた課題”について、調査を実施しました。

【調査結果サマリー】

◇20-24歳の女性が、今後の電子書籍普及のカギ！

男女・世代別で見ると、20-24歳の女性は、男性および女性のその他の年齢層に比べて電子書籍の利用意向が高く、今後、電子書籍が普及する上で、カギとなる層であることがわかりました。スマートフォンの利用者も他の年齢層に比べて多いのが特徴です。(P2:1参照)



◇60歳代でも約4割が、電子書籍の使用経験あり！

書籍および電子書籍に興味のある男女を対象にした調査ではありますが、60歳代でも約4割(38.8%)が電子書籍の利用経験があると回答しました。この年齢層のスマートフォン利用者は多くないため、大半はパソコンを通して電子書籍を利用しているようです。(P2:1参照)

◇電子書籍で読んでいるジャンルは、男女共に小説・コミックが2強！

次いで男性はビジネス書・参考書、女性はレシピ本が人気。

電子書籍で読んでいるジャンルの問いに対しては、男女共に小説・コミックが最も多く、次いで男性はビジネス書、参考書を利用していると答えています。一方、女性は小説・コミックがほとんどですが、その次にはレシピ本と、男女の違いが表れています。

今後、電子書籍の普及にはこれらのジャンルが重要と見込まれます。(P4:4参照)

◇電子書籍では、“手頃な価格”“簡単な操作”を重視！

電子書籍を利用する際に重視する項目は、“手頃な価格”“簡単な操作”が幅広い年代で上位となりました。年代が上がるほど“簡単な操作”への要望は高く、今後幅広い世代に利用されるためには重要な要素といえます。(P5:6参照)

◇紙の本の良さはそのままに、電子書籍ならではの便利な機能もほしい！その可能性は無限に…

便利で新しい機能を持つ電子書籍に魅力を感じてはいるが、紙の本独特の良さも捨てがたい…

今後の電子書籍には紙の本の良さを残しつつ、電子書籍ならではの便利さを併せ持つことが求められています。まだまだ電子書籍には無限の可能性が広がっています。(P6:7,8 P7:9参照)

■調査の概要

【調査日】 2012年6月

【調査方法】 インターネットリサーチ

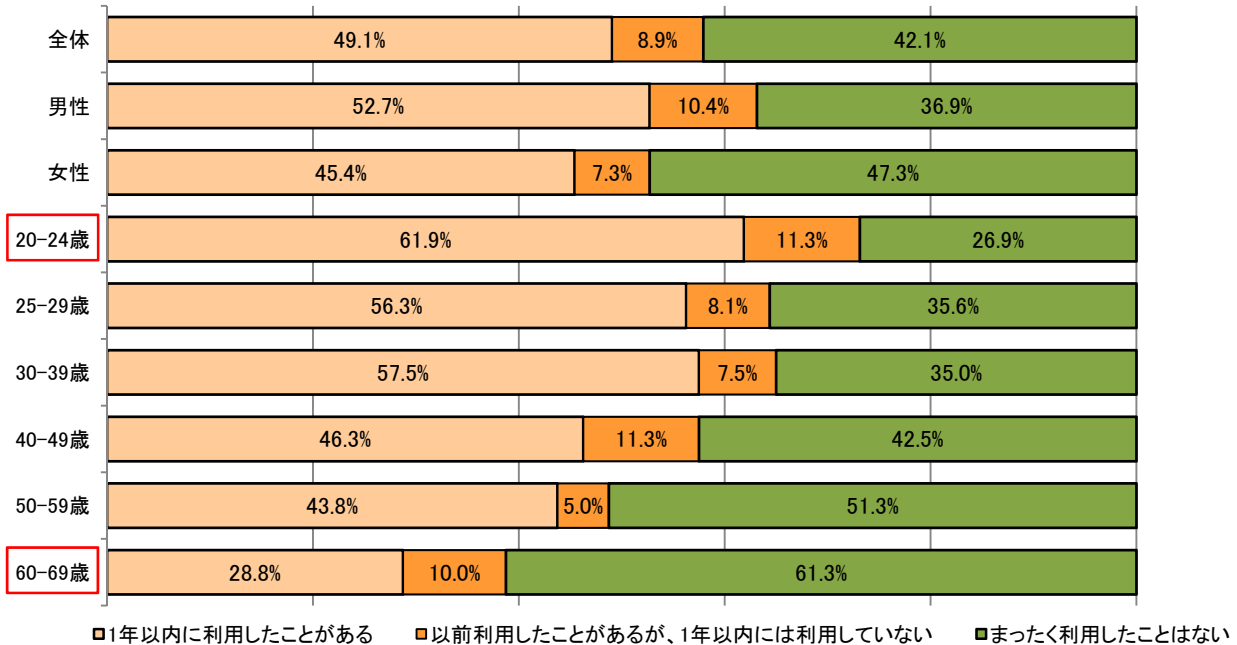
【調査地域】 全国

【調査人数】 書籍および電子書籍に興味のある男女20～60歳代 960名

1. 20歳代の約7割は電子書籍の利用経験あり。60歳代でも約4割！

電子書籍の現在の利用状況について尋ねたところ、全体の約6割が利用経験を持ち、中でも20歳代前半では7割以上が経験ありと回答しています。また、60歳代でもなんと4割近くが利用したことがあり、幅広い世代に需要があることがうかがえます。

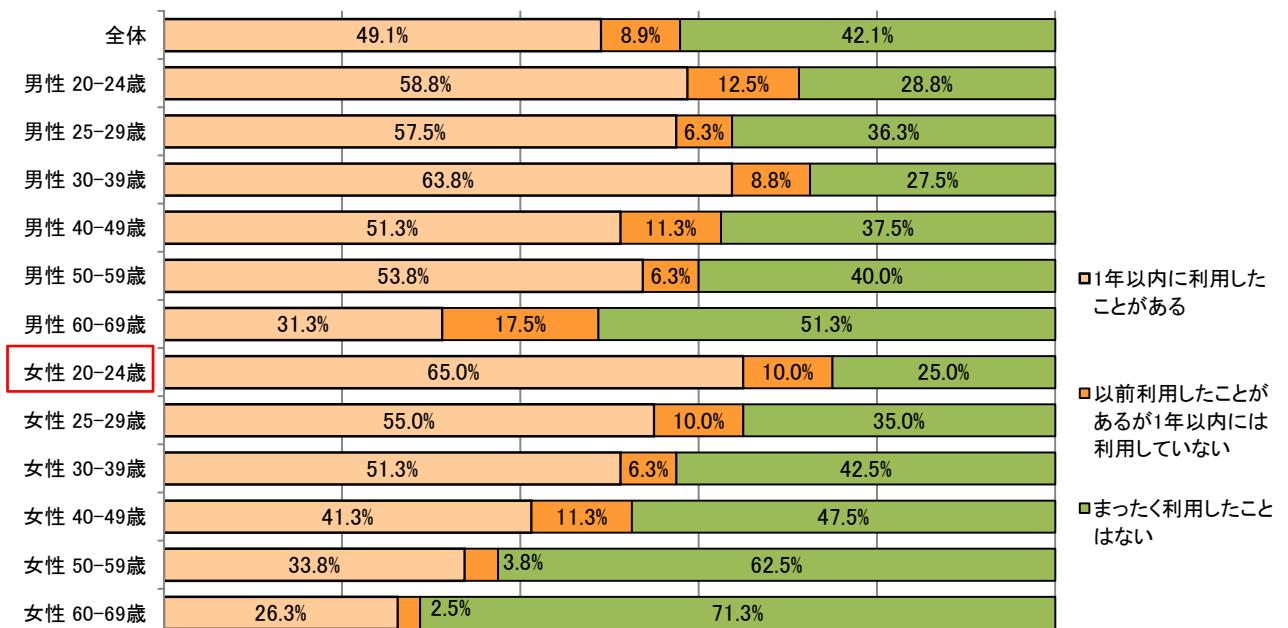
◆電子書籍を利用したことがありますか(n=960)



また男女・世代別に見ると、20-24歳は男性が58.8%に対して女性が65.0%となっていますが、この年齢層では女性(48.8%)の方が男性(30.0%)よりスマートフォンの利用者が多く、今後の電子書籍普及の上で、この年齢層の女性は、重要なターゲットになると見込まれます。

なお、40歳以上になると、男性の方がスマートフォン利用者・利用経験ともに高い数値となっています。

◆(男女・世代別)あなたは、電子書籍を利用したことがありますか(n=960)



2. 時間や場所に拘束されずに手軽に読めるのが、電子書籍の大きな魅力！ スマホ・タブレットなど、様々な端末の普及も電子書籍利用拡大の一因に…

電子書籍の利用経験者、また、今後利用してみたい…と答えた利用意向者(以下、利用意向者)に、その理由を聞いたところ、利用意向者は「現物の本のように場所を取らないから(53.4%)」「移動中に読むのにちょうどいいから(48.7%)」など、電子書籍の便利さを理由にあげていますが、利用経験者は「手軽に暇つぶしができるから(39.3%)」「いつでも好きな時間に購入・読めるから(35.5%)」など、時間の有効活用策として電子書籍を利用している様子がわかります。

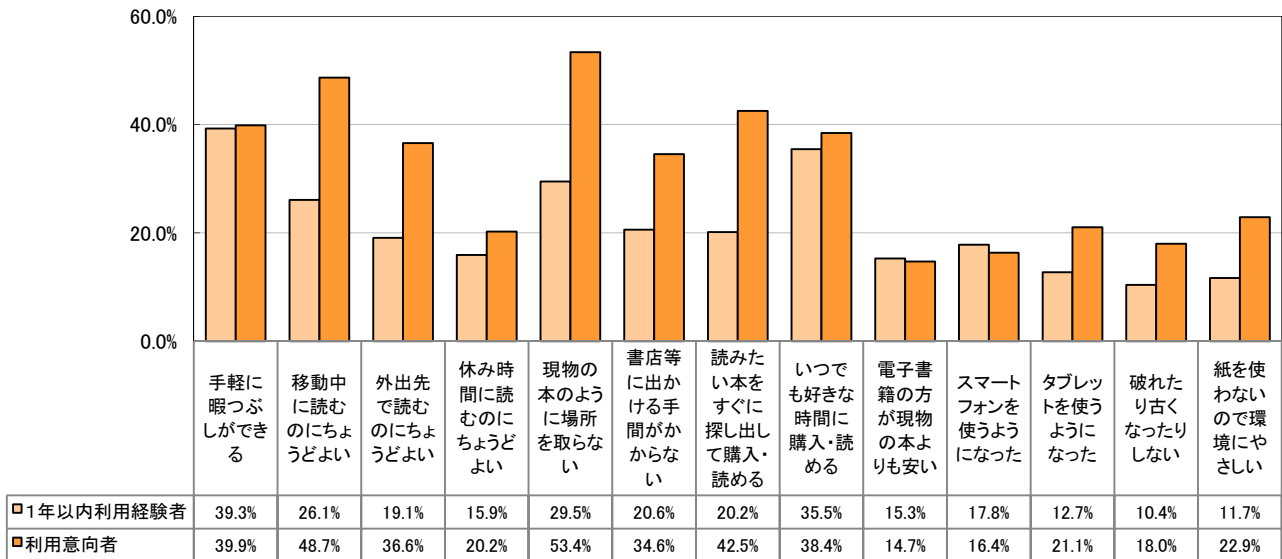
利用経験者・利用意向者ともに、時間や場所に拘束されることなく手軽に本を読めることが、電子書籍の大きな魅力だと捉えているようです。

一方、「電子書籍を利用したいと思わない」と回答した人に理由を聞いたところ、「本は紙で読みたいから」という回答が最も多く37.8%でした。この回答は、意外にも20歳代の若年層に多く、電子書籍の使い勝手を知っているデジタル世代だからこそ、利用シーンや作品によっては紙で読みたいというこだわりがあるようです。

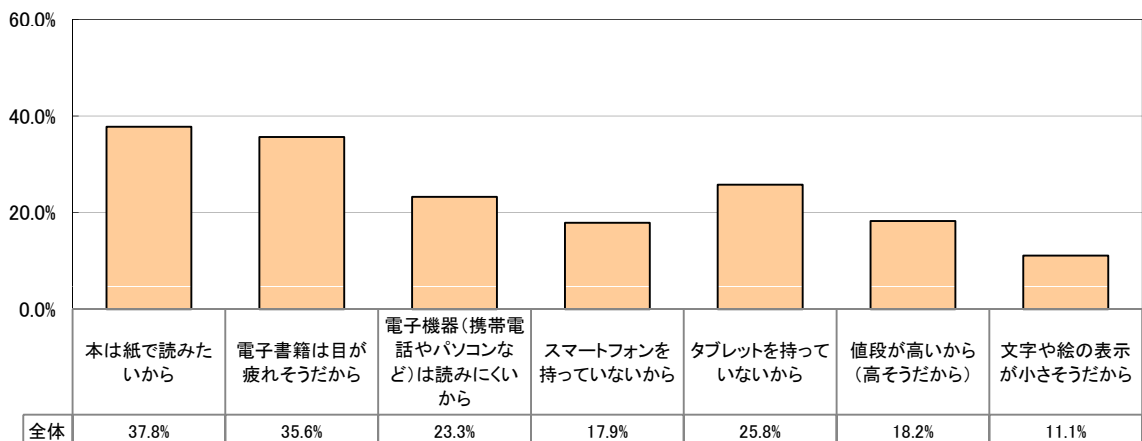
さらに、電子書籍を利用する理由・利用しない理由ともに、近年普及しているスマートフォンやタブレットの端末を持っているか否かを理由にあげている回答が多く、大きな画面と持ち運べるサイズを兼ね備えた端末の普及も、電子書籍の利用拡大に大きく影響していることがわかりました。

◆あなたが電子書籍を利用している理由を教えてください。(→利用経験者 n=471)

◆あなたが電子書籍を利用してみたいと思う理由を教えてください。(→利用意向者n=489)



◆あなたが電子書籍を利用したいと思わない理由について、あてはまるものをすべて教えてください(n=5771)



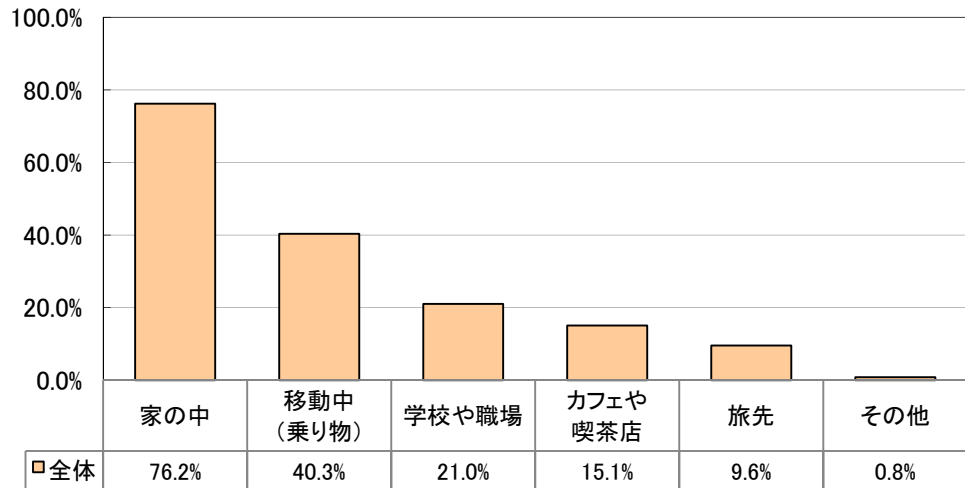
※n=5771は、今回の調査対象人数960名を抽出するために実施した事前調査の人数

3. 電子書籍の利用場所は、非日常的な場所ではなく、日々の生活の中が多い。

電子書籍の利用経験者に、利用する場所を尋ねたところ、利用シーンは「家の中(76.2%)」が最も多く、次いで「移動中・乗り物(40.3%)」「学校・職場(21.0%)」など、非日常ではなく、日常生活の中での利用がほとんどであることがわかりました。

また、その他の意見では、「病院の待ち時間」など、空いた時間の有効活用があげられました。

◆あなたが電子書籍を利用する場所を教えてください(n=471)



4. 利用ジャンルは小説・コミックが2強！次いで男性はビジネス書・参考書、女性はレシピ本を購読、性別・年齢によって利用ジャンルに差も…

調査対象者全員に、普段読んでいる書籍(紙)のジャンルを尋ね、電子書籍で読んでいるジャンル(電子書籍の利用経験者のみに質問)との比較をしてみました。

書籍(紙)は「小説(54.5%)」「雑誌(46.5%)」「コミック(41.0%)」が上位を占め、電子書籍では「小説(46.3%)」「コミック(45.2%)」が他のジャンルに比べて、圧倒的に多いことがわかりました。

ともに小説が1位という点は同じですが、雑誌は多くの回答者が書籍(紙)で読んでいると答えているのに対し、電子書籍では12.7%の回答にとどまり、書籍のジャンルによって需要が異なることがわかります。

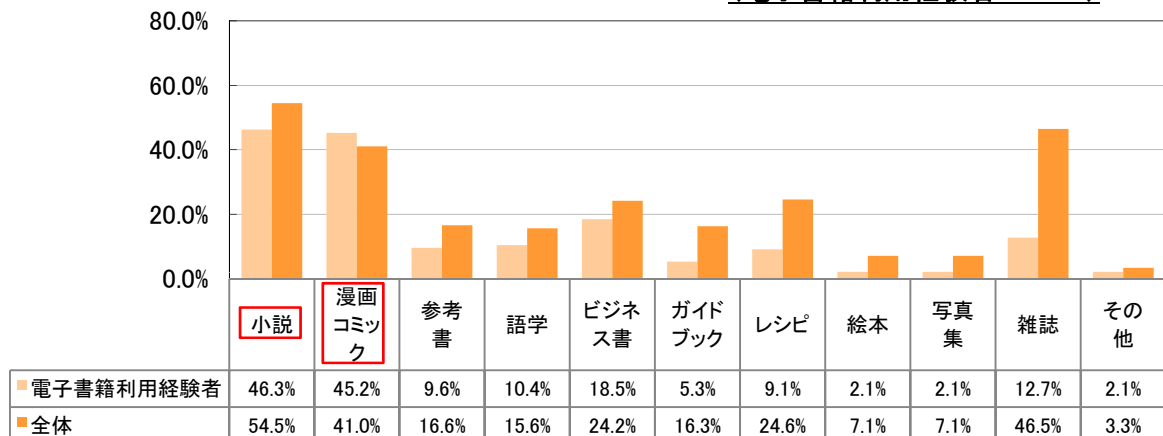
さらに電子書籍での利用ジャンルを性別・年齢で細かく見ると、小説・コミックの他に、男性はビジネス書(26.9%)・参考書(13.4%)、女性はレシピ本(14.2%)が特に利用されていることもわかりました。

今後の電子書籍の普及には、これらのジャンルが重要なコンテンツと見込まれます。

◆あなたが普段読んでいる書籍の種類を教えてください(全体 n=960)

◆あなたが利用している電子書籍のジャンルを教えてください

(電子書籍利用経験者 n=471)



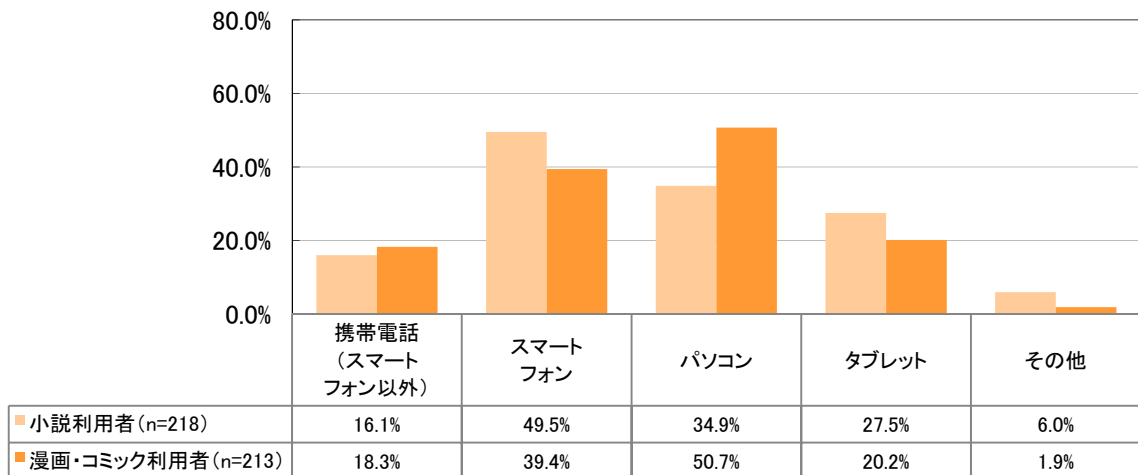
5. 小説はスマホで、コミックはPCでの閲読が多数派…ジャンルごとに利用端末を分ける傾向。

電子書籍の利用経験者に、下記の11ジャンル(*)の書籍をどんな端末で読んでいるかを聞き、その中でも特に電子書籍での利用が多い小説とコミックについて比較しました。

結果、小説はスマートフォンで、コミックはPCで読む人が多いことがわかりました。文字が中心の小説と、絵を見ながら読むコミックでは、同じ電子書籍でも利用端末が異なり、ジャンルごとに読みやすい端末を選んだり、端末に合わせて読む作品を選んでいることがわかりました。

(*)「小説」「漫画・コミック」「参考書」「語学」「ビジネス書」「ガイドブック」「レシピ」「絵本」「写真集」「雑誌」「その他」

◆電子書籍を利用する際に使っている機器はどれですか



6. “手頃な価格” “簡単な操作” を最も重視！手軽に簡単に使ってみたい。

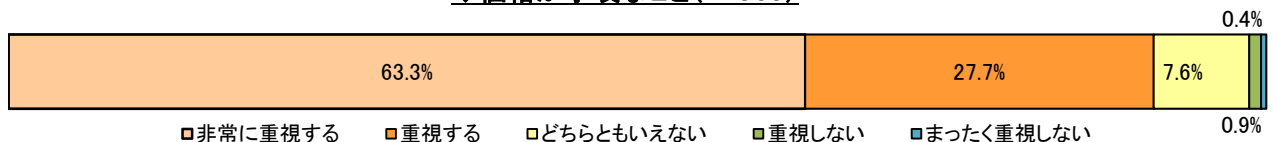
調査対象者全員に、下記の7項目(*)に対して「電子書籍を利用する際にどの程度重視するか」を尋ねたところ、“非常に重視する” “重視する” と回答した人を合わせると、「価格が手頃であること(91.0%)」が最も重視されており、次いで「操作が簡単であること(83.2%)」でした。

電子書籍の利用経験のない人は特に「手軽に電子書籍を試してみたい」という思いが強く、それらが価格や操作のしやすさを重視する傾向につながっていると考えられます。

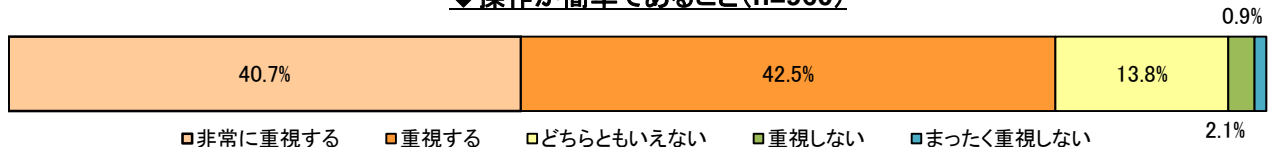
また、操作のしやすさについては、60歳代の男女が重視する割合が高く、9割を超えています。逆に言えば、60歳代でも「操作が簡単であれば利用したい」との意向があるとも受け取れるため、今後電子書籍の利用を促進していくために「簡単な操作」は必要不可欠となりそうです。

(*)「品揃えが豊富なこと」「ジャンルが豊富なこと」「価格が手頃なこと」「読みやすさ」「セット購入できること」「最新巻が購入できること」「操作が簡単であること」

◆価格が手頃なこと(n=960)



◆操作が簡単であること(n=960)



7. 書店で買うように選びたい！紙の本と同じように、電子書籍とも出会いたい…

調査対象者全員に、電子書籍マーケットの特性で重視することを下記の8項目(*)に対して尋ねたところ、「作品選択・検索のしやすさ(85.5%)」「試し読みができる(82.5%)」「複数出版社の作品が揃っている(77.8%)」が上位を占めました。

電子書籍であっても利用者は、「書店や図書館に足を運ぶのと同じ感覚で電子書籍マーケットを使いたい」という要望があることがうかがえます。

(*)「複数の出版社の作品が揃っている」「エピソードごとの小分け販売」「書籍購入アプリの統一」
「作品選択・検索のしやすさ」「情報が早い」「発売日が早い」「レビューが読める」「試し読みができる」

8. 記録はデータで残して、感想は心の中に残す。

調査対象者全員に、電子書籍の機能について下記の8項目(*)を、どの程度利用したいかを尋ねたところ、最も利用したいという回答が多かったのは「文字の拡大・縮小機能」で、“利用したい”“まあ利用したい”を合わせると86.5%となりました。特に50歳代以上では91.6%が利用したいと回答しており、紙ではない電子書籍だからこそできる機能への期待の高さがうかがえます。

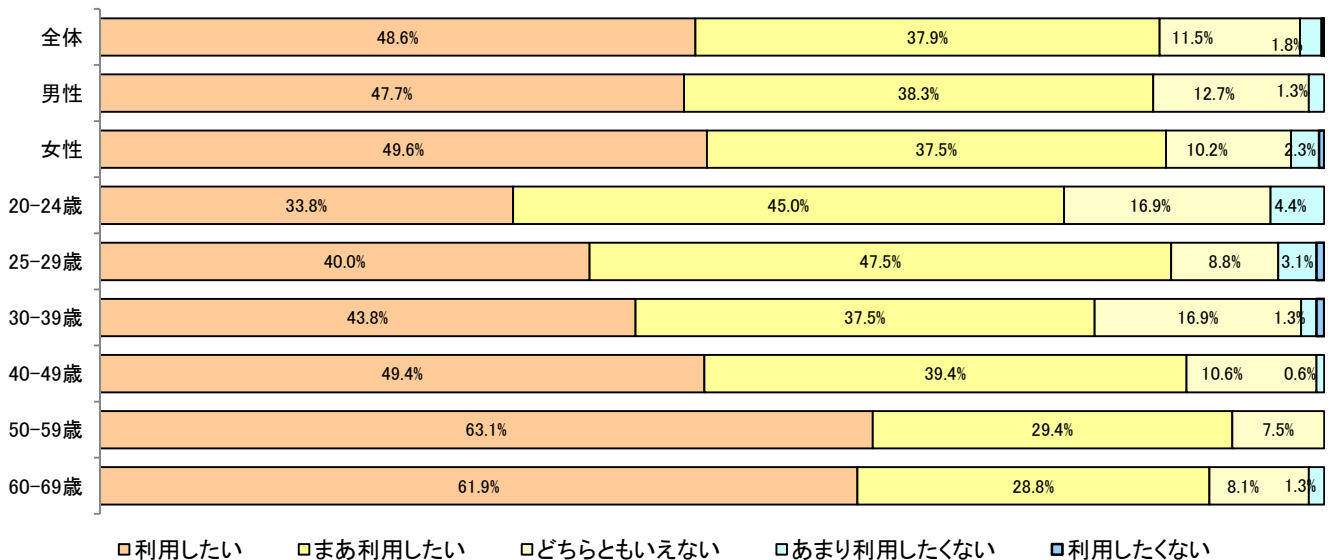
また、辞書を持ち歩かなくてもすむよう、辞書機能との連携の要望が高いこともわかりました。

さらに、読んだ本や、これから読む本をまとめて管理できる「本棚」や「読了帳機能」への要望は高いのですが、読んだ本の「感想を書き込める機能」への要望はあまり高くなく、電子書籍の機能にはまず、“読みやすい・整理しやすい”環境が求められており、デジタルの世界ゆえに読書の記録をデータで残したいと考えられているようです。

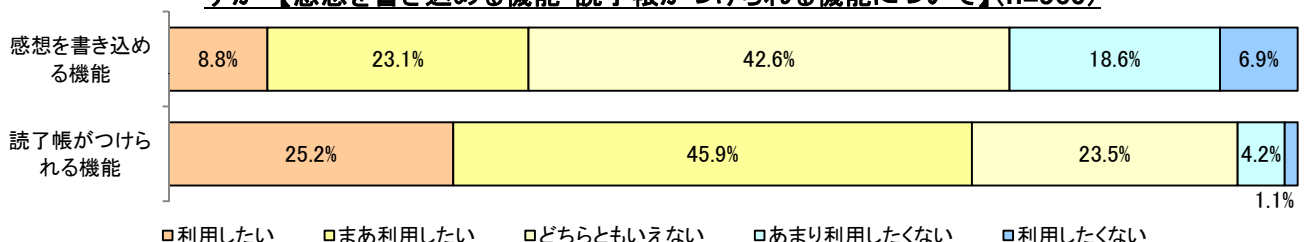
(*)「文字の拡大・縮小機能」「WEB接続機能」「動画や映像とのリンク機能」「音声読み上げ機能」「本棚機能」
「読了帳がつけられる機能」「感想を書き込める機能」「漢字の読みや言葉の意味を調べる辞書機能」

◆以下の電子書籍の機能について、どの程度利用したいと思いますか

【文字の拡大・縮小機能について】(全体n=960、男女各n=480、各年齢層n=160)



◆あなたは、以下の電子書籍の機能について、それぞれどの程度利用したいと思いますか【感想を書き込める機能・読了帳がつけられる機能について】(n=960)



9. 電子書籍の可能性はまだまだ広がる。紙の本の良さはそのままに、電子書籍ならではの新しい機能や、希少本との出会いも…

調査対象者全員に、今後電子書籍で使いたい機能や、できたらよいと思うことについて尋ねました。
(自由回答)

「紙の書籍や書店と同じ感覚で使いたい」というリアル追求型の意見が多い一方で、「読みやすさや便利さを追求した機能やサービス」「電子書籍ならではの画期的な新しい機能」などを求める声が数多く見られました。

◆あなたが電子書籍を利用する上で、「こういうことができれば便利」と思うことや、
「こういう機能があれば利用してみたい」と思うことは？(自由回答)

<自由回答結果>

■紙の本や、書店の良さを生かした機能・サービス

- ・“しおり”や“マーカー(書き込み)”機能の利用
- ・読んでいる途中で、残りのページ数がわかる機能
- ・質感やめくっている感じなど、紙の本と同じ感覚で読めること
- ・所有しているという実感
- ・書店や家の本棚のように電子書籍を一覧で見られる仮想本棚
- ・友人や家族間での貸し借り
- ・中古本を購入・販売
- ・オークションへの出品

■読みやすさ、便利さを追求した機能・サービス

- ・目が疲れずに読むことができる仕組み
- ・老眼でも読むことができる機能
- ・毎月同じ料金ですべて読み放題のサービス

■電子書籍ならではの新しい機能

- ・本以外に、音楽・動画・グッズなどを同時に購入できるサービス
- ・歴史の更新や、辞書への新語の追加など、文字の自動修正
- ・手芸の本などで、写真を拡大・回転して見ることができる機能
- ・飛び出す絵本

■絶版本・希少本など、手に入れにくい書籍を読みたい

- ・図書館などにしか置いていない昔の本・辞書などを利用したい
- ・出版が終わってしまい、店頭で買えなくなった本を読みたい

■調査の概要

【調査の目的】

近年、徐々に利用者が広がりつつあり、今後さらに普及が見込まれる電子書籍について、利用状況などを把握し、あわせて利用者や利用希望者の要望などを聴取することを通して、電子書籍を取り巻く状況・課題を明らかにすることを目的とする。

【調査日】 2012年6月

【調査方法】 インターネットリサーチ

【調査地域】 全国

【調査人数】 書籍および電子書籍に興味のある男女20～60歳代 (性別・世代ごとに各80名)
合計960名

〔参考資料〕

【女性対象】電子書籍利用動向、書籍ジャンルニーズ調査

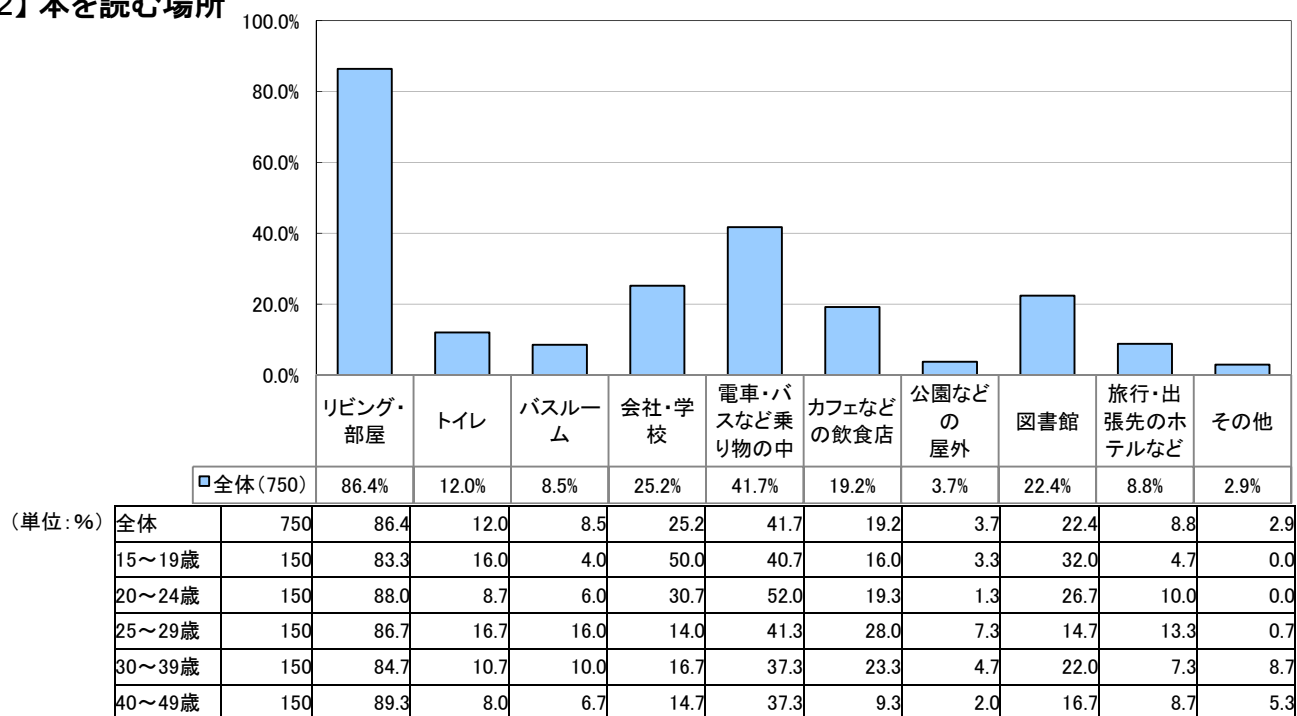
当社では2012年6月22日～24日に、10代後半から40代の女性750名を対象に、電子書籍の利用状況、女性にニーズの高い書籍ジャンルなどの調査を行いましたので、その結果(概要)を紹介します。

【1】1か月間に書籍(紙)にかける金額は、「文庫本1・2冊、ハードカバー1冊程度」

- ・500～1,000円未満(文庫本1・2冊程度)が最も多い結果となりました。
- ・0円という回答が全年代を通して20%前後存在するのは、「図書館で借りて読む」層(各年代で14～32%→【2】表参照)が存在するためと思われます。
- ・上記から、1か月に文庫本1・2冊、ハードカバー1冊程度購入しているようです。

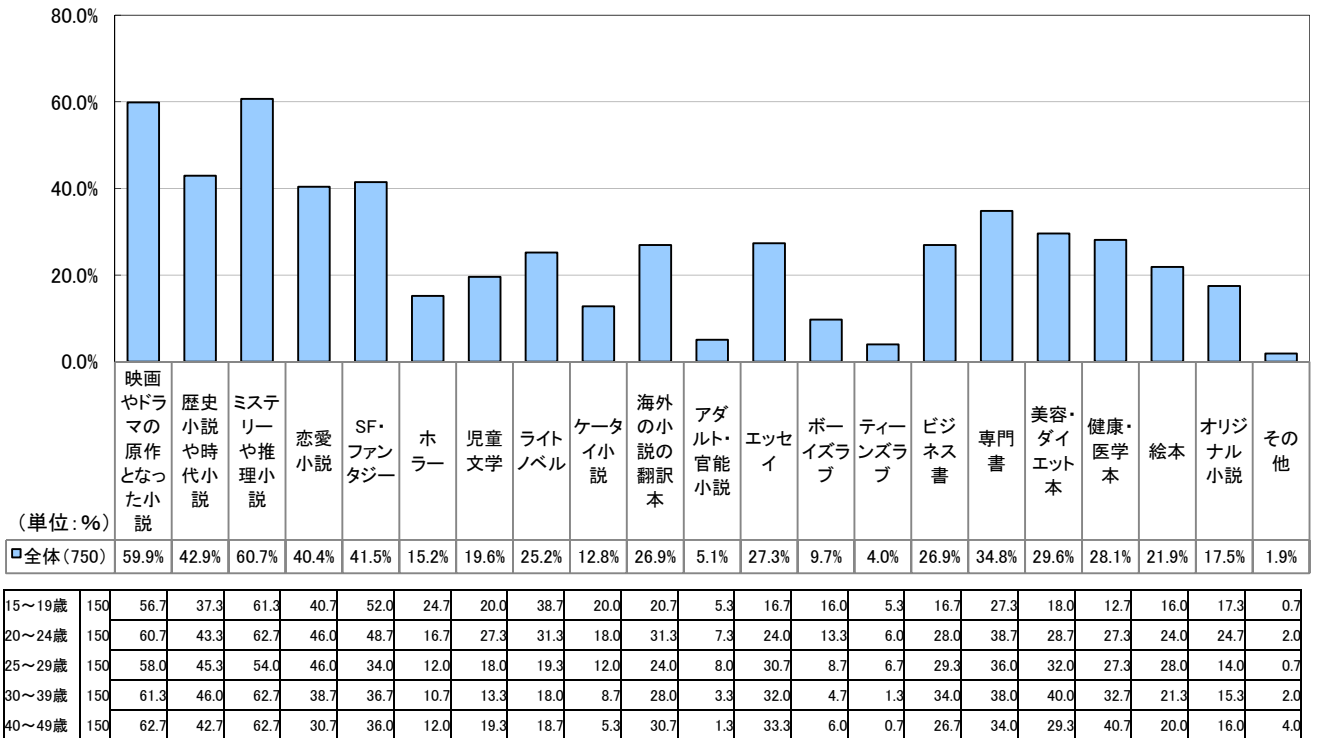
	0円(自分で買わない)	500円未満	500円～ 1千円未満	1千円～ 2千円未満	2千円～ 3千円未満	3千円～ 5千円未満	5千円～ 1万円未満	1万円以上	
全体	18.0%	22.0%	29.7%	17.1%	5.6%	4.4%	2.3%		
15～19歳	21.3%	22.0%	28.0%	17.3%	6.7%	2.7%	2.0%		
20～24歳	19.3%	17.3%	32.0%	22.7%	3.3%	3.3%			
25～29歳	12.0%	26.7%	30.7%	13.3%	6.7%	6.7%	3.3%		
30～39歳	20.0%	22.7%	28.7%	16.0%	4.7%	4.0%	2.7%		
40～49歳	17.3%	21.3%	29.3%	16.0%	6.7%	5.3%	2.7%		
(単位:%)									
全体	750	18.0	22.0	29.7	17.1	5.6	4.4	2.3	0.9
15～19歳	150	21.3	22.0	28.0	17.3	6.7	2.7	2.0	0.0
20～24歳	150	19.3	17.3	32.0	22.7	3.3	3.3	0.7	1.3
25～29歳	150	12.0	26.7	30.7	13.3	6.7	6.7	3.3	0.7
30～39歳	150	20.0	22.7	28.7	16.0	4.7	4.0	2.7	1.3
40～49歳	150	17.3	21.3	29.3	16.0	6.7	5.3	2.7	1.3

【2】本を読む場所



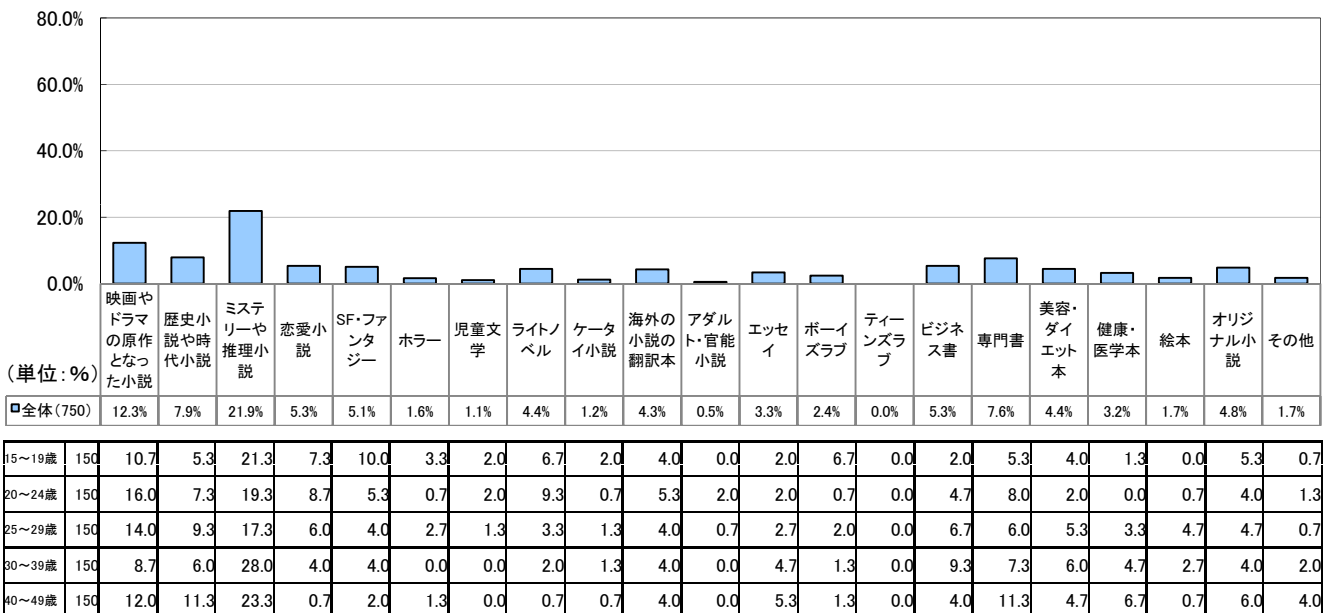
[3] 今後読みたい本のジャンル

- ・全年代を通して「ミステリー・推理小説」「映画やドラマの原作」が人気(60%前後)です。
- ・10代後半～20代前半では「ライトノベル」、20代後半以上では「エッセイ」「健康医学」「美容・ダイエット」のジャンルが多く読まれています。



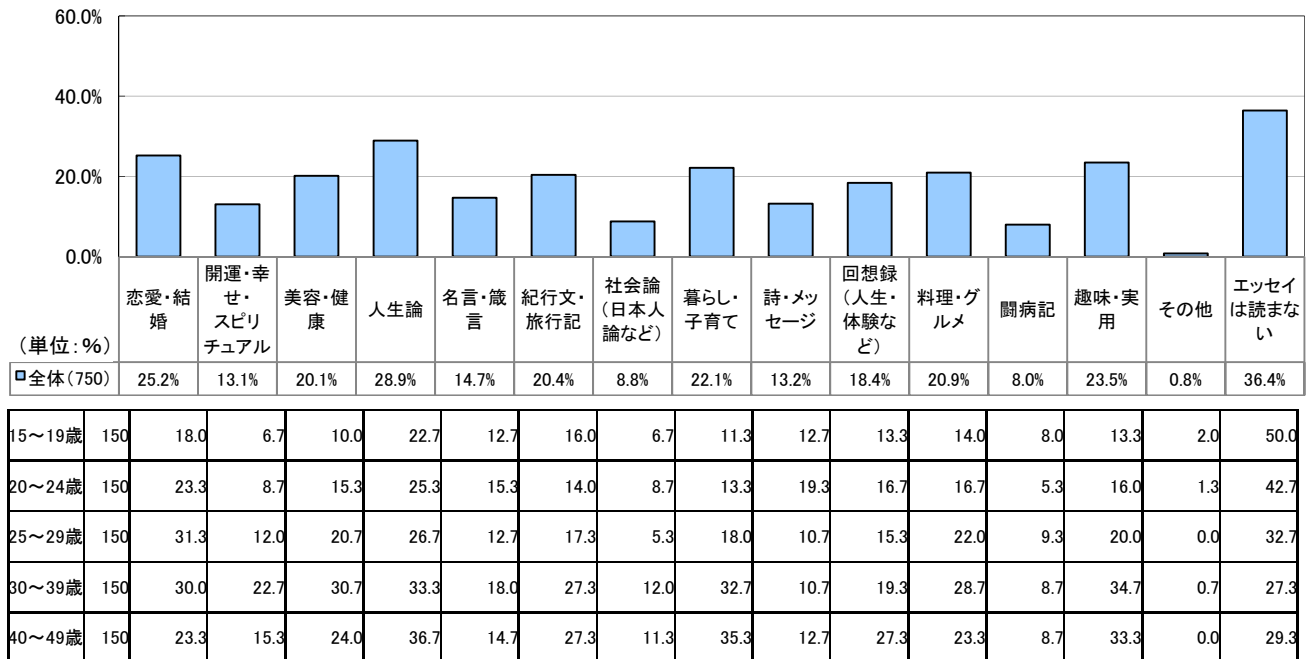
[4] 最も読みたい本のジャンル

- ・【3】と同じく、「ミステリー・推理小説」(21.9%)、「映画やドラマの原作」(12.3%)が全年代において上位となっています。
- ・10代後半では「SF・ファンタジー」、20代前半では「ライトノベル」、20代後半・40代は「歴史小説」、30代は「ビジネス書」に興味を持っています。



【5】 普段読んでいるエッセイのジャンル

10代後半は「エッセイを読まない」傾向が強いです。30代以上は「暮らし・子育て」のジャンルが多く読まれています。



【6】 読まれている主なエッセイのタイトル例 ～モテ女子・愛され女子志向強し！～

様々なエッセイがあげられましたが、電子書籍の重要なターゲットになると見込まれる20-24歳の女性には、下記のような“女性を磨く”“幸せな人生を送る”ためのエッセイが多く読まれています。

タイトル	著者
贅沢に、美しく大人の女	安井かずみ
女の魅力は「話し方」したい	金井良子
女の魅力は「話し方」したいPart2	金井良子
男の器量は女したい	榎本勝起
ガールズ・バイブル	内野彩華
愛と幸運が降ってくるプリンセス・ブック	中野裕弓
あなたのなかの「美人オーラ」を引き出す方法	梶井利依
「気くばり」のできる人へたな人	伊吹 卓
「気くばり」のできる人ほど「人の心」がつかめる	伊吹 卓
「人の心をつかむ人」8つの共通項	橋本保雄
「空気が読める人」の会話術	望月明美
愛されるオフィス・マナーが身につく本	尾形圭子
人に好かれる言葉ハンドブック	今井登茂子
“気のきいた一言”がスラスラ出てくる本	八坂裕子
実践「ほめる！」技術	福田 健
“苦手な人”がいなくなる！人づきあい29のルール	北山節子

■ 調査の概要

【調査の目的】 女性にニーズの高い書籍ジャンルを把握することを目的とする。

【調査日】 2012年6月

【調査方法】 インターネットリサーチ

【調査地域】 全国

【調査人数】 普段から書籍を読んでいる10代後半～40代の女性750名

【エムティーアイの電子書籍ラインナップ】

当社では、2011年4月に『yomel.jp』でスマートフォン向け電子書籍にいち早く参入し、以後「コミック」「オーディオブック」「写真集」など、様々なジャンルの電子書籍サービスを展開してきました。

各サービスとも年齢・性別を問わず、安心して楽しめる多彩なジャンルの作品を提供するとともに、簡単な操作方法、文字の大きさ、縦書き・横書きの変更など、幅広い世代の人々が読みやすい工夫にも注力し、使いやすさでも定評を得ています。

『yomel.jp』『kikel.jp』『Photo Book Café』では、定額で読み放題・聴き放題サービスを取り入れ、時間や場所を問わずいつでもどこでも気軽に読書ができる環境作りも行っています。

今後もすべてのサービスにおいてコンテンツや利用端末の拡充を図り、人々の生活のどんなシーンにも電子書籍が便利に活用されている…そんな未来を目指して新たなサービスを送りだしていきます。



サービス名	yomel.jp
サイト概要	～定額読み放題の電子書籍サービス～ 文豪作品から話題の人気小説まで、月額 315 円で様々な小説が読み放題の電子書籍サービス。簡単操作で、料金や本の重さを気にせず、いつでもどこでも好きなだけ読めるので、手軽に読書が楽しめます。推理系や時代小説、ドラマ化された人気小説、一度は読みたい名作など、幅広いジャンルを揃えました。
課金額(税込)	Android : 月額315円 iOS : 月額250円
アクセス方法	スマートフォン・タブレットで『yomel.jp』で検索



サービス名	comic.jp
サイト概要	～最新人気マンガが読めるコミック配信サービス～ 大手出版社の最新人気マンガが読める、コミック配信サービス。有名マンガ雑誌の選りすぐりの作品をはじめ、アニメ化や映画化、ドラマ化された注目作品を数多く配信し、毎月続々と追加していきます。「人気コミック1話無料」や「フルカラー作品」など、気軽に読めるサービスが満載。
課金額(税込)	Android : 月額315円～2,100円
アクセス方法	スマートフォン・タブレットで『comic.jp』で検索



サイト名	kikel.jp
サイト概要	～プロが本を朗読してくれるオーディオブックサービス～ 有名アナウンサーや声優など、プロの読み手が本を朗読してくれるオーディオブックサービス。小説・絵本・落語など、幅広い世代が楽しめる作品を、文字を目で読まずに、耳で聴いて楽しめます。月額315円の定額制ですべての作品が聴き放題。無料で聴けるお試しサンプルもあります。
課金額(税込)	Android : 月額315円 iOS : 近日中対応
アクセス方法	スマートフォン・タブレットで『kikel.jp』で検索



サービス名	Photo Book Café
サイト概要	～多彩な写真が楽しめるスマホ・タブレット用写真集～ スマートフォンやタブレットで様々な作品が見られる写真集。世界の風光明媚な風景・美しく可愛い動植物・人気女優の人物写真など、月額315円でいつでもどこでも全作品を楽しめます。年齢・世代を問わず人々が安心して見られる写真のみを配信。無料で見られるお試しサンプルもあります。
課金額(税込)	Android : 月額315円 iOS : 月額315円
アクセス方法	スマートフォン・タブレットから http://photobookcafe.jp/ にアクセス

サイト名	旺文社辞典forベーシック
サイト概要	～105円で旺文社の辞書12冊が使い放題のアプリ～ 「旺文社国語辞典」「英和辞典」「和英辞典」など、旺文社の辞書全12冊を一括検索できる、使い放題の辞書アプリ。 (16冊分の辞書が利用できる旺文社マルチ辞典もあります)
課金額(税込)	Android : 月額105円 iOS : 月額105円
アクセス方法	スマートフォン・タブレットから http://jisyoweb.mopita.com にアクセス

<会社情報>

- 株式会社エムティーアイ (JASDAQ上場:9438)
- 本社所在地 : 〒163-1435 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー35F
- 設立 : 1996年8月12日
- 資本金 : 2,562百万円 (2012年6月30日現在)
- 従業員数 : 818名 (連結・2012年6月30日現在)
- 事業内容 : コンテンツ配信事業
『music.jp』『ルナルナ』をはじめ、モバイルサイトを通じて便利で楽しいサービスを提供するモバイル・コンテンツ企業です。有料会員数は、2011年6月末現在で804万人と国内No.1の会員数を保持しています。
- 売上高 : 32,342百万円(2011年9月期)

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ先>

株式会社エムティーアイ 広報室
TEL : 03-5333-6323 FAX: 03-3320-0189
E-mail: mtipr@mti.co.jp URL: <http://www.mti.co.jp>